

令和5年度 第3回大島区地域協議会 次第

日 時：令和5年6月21日（水）
午後2時から
場 所：大島就業改善センター
3階 大会議室

1 開 会

2 協 議

(1) 視察研修について

資料No.1

(2) 地域活性化の方向性について

資料No.2

3 その他

(1) 令和5年度第4回地域協議会の開催日について

【開催日：___月___日、開催時間：___時___分から】

4 閉 会

大島区地域協議会 視察研修先一覧

資料No. 1

年度	実施日	視察先	内 容
平成22年度	10月27日	十日町市松之山東川	地域おこし協力隊
		十日町市赤倉集落	集落での地域活動が盛んな集落
		柏崎市高柳町岡野町	シャッターアートで観光客を呼び込む
平成23年度	10月26日	長野県下水内郡栄村	NPO法人 栄村ネットワーク (栄村のむらづくりと発展のための団体)
平成25年度	9月2日	長野県下水内郡栄村役場	独自事業田直し・道直し・げたばきヘルパー・雪害対策救助員・道踏み支援・デマンド交通
		中魚沼郡津南町役場	自立計画・地域おこし協力隊
平成26年度	9月4日	長岡市山古志	やまこし復興交流館おらたる(地域と来訪者をつなぐ交流スペース) 木籠(こごも)メモリアルパーク(震災の記録)
		長岡市菅畑	農家レストラン・農産物直売所すがばたけ
平成27年度	9月1日	十日町市池谷集落	十日町市地域おこし実行委員会(震災復興と集落の存続を目指して、都市住民ボランティアとの協力・協働)
		大地の芸術祭	
平成28年度	9月1日	長野県上水内郡小川村	役場:地域振興の取組状況 信州 小川の庄 おやき村
		長野県長野市松代町	松代城跡・真田宝物館見学
平成29年度	9月1日	十日町市南鏡坂	(株)Aファーム 雪の十日町(第6次産業への取組、農家レストラン)
		南魚沼市清水集落	特定非営利法人 ECOPLUS(“本当の豊かさを求めて”活動する法人)
平成30年度	9月10日	名立区瀬戸	不動森あげ米かい(ひまわり農園、蛍のビオトープ)
令和元年度	8月30日	柿崎区水野集落	柿崎区中山間地域農業振興会(中山間地域等直接支払交付金に係る集落協定締結の12集落で構成) 各集落が抱える課題に対する支援策の一つとして地域おこし協力隊を導入
		十日町市室野集落	室野集落安全づくりの会(除雪支援)
令和2年度	—	—	新型コロナウイルスの影響により、実施せず。
令和3年度	—	—	新型コロナウイルスの影響により、実施せず。
令和4年度	11月7日	women(ウーマン) farmers(ファーマーズ) japan(ジャパン)株式会社(十日町市)	移住者の取組や受入集落のサポートの状況
		柏崎市高柳町荻ノ島集落	移住者の取組や受入集落のサポートの状況

大島区の強み、弱み グループワークのまとめ

資料No. 2

「・」:強み、弱み、キーワード 「()」:理由、根拠 「→」:意見、補足

Aグループ	Bグループ
<p>自然が豊か <強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテルが多い(若い世代に人気) ・山菜など、山の恵みがある(全世代に人気) ・自然が豊かで景色が良い(60代~70代以上に人気) 	<p>おいしい水や食べ物 <強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水や食べ物がおいしい。(全世代に人気) →湧き水、清水、水道水がおいしい。 →農家が多く、自身で作ったもの、または自身の土地で作られたものだから、おいしく感じるのではないかと。 →農業法人化をもっと推進するような策を講じる必要がある。 ・自然が豊かで景色が良い。ブナ林、雪景色、紅葉など。(全世代で人気) →都会からの来訪者から空気がおいしいと言われる。 →地域で活用されていない自然の産物が多い。何とか事業化できる道を探るべきではないか。
<p>農業 <強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・おいしいお米(4地区別、年代別でも1位) ・農作業しながら暮らせる。米作り、野菜作りを楽しんで食べ物を作る。 →農地の管理に関して、これからの農業はどうなるのか将来が不安。(40歳以下の従事者が少ない) →後継者の育成に課題あり。 	<p>地域の施設 <強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療所、鉄道、福祉施設がある。(生活する上で最低限必要) ・青空市場がある。(60代~70代に人気) ・日本一うまいコロテンがある。(県外者が多い、地元でも有名) ・地域の施設や資源に愛着を感じている。(地区別で1位) 昌蒲地区:飯田邸 大島地区:ホテル関係 保倉地区:青空市場 旭地区:板山不動尊
<p>地域の活動 <強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動について、関心のある人ない人に関わらず、活動に参加する人は、少しでも地域の役に立ちたいという気持ちと人付き合いが大事であると感じている人が大半を占めている。 ・一方で、女性は参加しない、または関心がない人の割合が多いというアンケート結果が出ている。 →参加できるような取組が必要である。 	<p>地域活動への女性参加 <弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動について、女性が参加しやすいシステムがない。(関心はあるが参加していないと回答した女性が多い) →町内会長、役員などに女性が出る場がない。 →役割分担的なもので、男性は地域の活動というイメージがあるように感じられる。最近では、PTA会長が女性となるなど、増えてきている部分もあるため、同性が増えれば、参加しやすい環境となるのではないかと。
<p>残していきたい イベント <強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・才の神(高齢者世代に人気)(正月飾りなどの処分にもよい) →毎年行われる祭りとして大切な行事である。 ・灯の回廊(若者から年寄りまで参加できる)(情報発信して集客できる) ・おおしま夏まつり(10代~40代で1番人気) ・秋葉神社のちょうちん行列 ・薬師山道 	
<p>居住意向など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大島区のことを好きと考える人が多い。「大好き」「まあまあ好き」との回答が8割(暮らし続けたくないと答えた人は全体の5%) →自身が生まれ育った場所であるから好きと答えるのではないかと。 ・実際に暮らしていきたいかとなると5割程度となる。 ・住民が温和である。近所づきあいが良い。地域のまとまりがある。(特に若い世代が感じている) →1人暮らしの人に話しかける、夕飯のおかずを届ける、といったことから、若い世代がそのように感じるのではないかと。 ・「暮らし続けたい」「暮らし続けたくない」と答えた人が両方とも、「自然が豊かで景色が良い」「水や食べ物がおいしい」と答えている。 →大島区外の人にも分ってもらえる努力も必要。 	
<p>除雪の支援 <弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・除雪が大変である。(全世代1位)「暮らし続けたい」「暮らし続けたくない」との回答者問わず、屋根や玄関前等の除雪が大変であるとの回答) →雪国での生活の一部でもあり対策は難しいが、何かしらの支援が必要である。 →高齢者の単身世帯のみ補助制度があるが、高齢者全員にも補助が必要ではないか。 →高齢化割合が多い地区でもあり、不安問題の多い除雪に対してさらなる対応が必要。 	<p>除雪要望 <弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・除雪が大変であり、将来が不安の要因である。(全世代で1位) →除雪に係る経費は大きいと、補助金など何かしらの支援が必要ではないか。 →除雪の支援が、最も住民に求められている。
<p>買物支援 <弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多く、車が使用できない人の買物が大変である。 →4地区で曜日を決めて、車を出すことで高齢者の楽しみが増えると思う。 ・子供達は買物に困っている。 →やまざくらで子供が喜ぶ商品を販売するのはどうか。 →無印良品の移動販売が毎月第3月曜日のため、子供の利用が少ないが、土日であれば利用者が増えるかもしれない。 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者など交通弱者が多く、買物や通院が大変である。 →移動手段の確保等、地域に適合した方策を検討する必要がある。 ・地域活動において、60代以上の年代の参加が多い。(60代~80代が多く、若者の参加が少ない) →理由は、道普請、盆踊り、才の神のような、伝統的、義務的な活動に対する考え方の違いではないかと。 ・働く場が少ない。(20代~50代) ・大島区に暮らし続けたい人は、60代~80代が多い。 →若者は不便なところが多いため少ないのではないかと。 ・大島区のことを好きと考える人が多い。(全体の8割が好きと回答) →今後も大島区のことを好きと感じられるように、年代別に興味を持つ地域づくりをしていくべき。 ・大島区全体で行っている行事、才の神、灯の回廊など残していきたい。
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働く場が少ない。(全世代) →企業誘致等考えていかなければならない。 	

令和4年度 地域協議会視察研修実施状況(大島区以外)

参考資料 1

地域協議会名	実施日	研修先	研修内容
高田区地域協議会	4月2日 4月9日	天国@四九ノ市(大町4)、bibit(本町4)、まめつぶ珈琲焙煎所・高田町家こめつぶ(本町2)	若者が町家等をリノベーションして活性化を図っている現場の視察。 ※実施日の2日間とも視察先は同じ。
春日区地域協議会	6月11日 11月25日	春日山城跡ほか 松代城跡ほか	自主的審議事項「春日山城跡の観光振興策について」の参考とするため、春日山観光における観光案内の状況を確認、及び春日山城跡等の現地確認。 自主的審議事項「春日山城跡の観光振興策について」の参考とするため、他地域の城跡等における観光振興状況の視察。
和田区地域協議会	8月7日	上越妙高駅周辺(フルサット、JM-DAWN等)	自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」の参考とするため、上越妙高駅周辺の現地視察。
八千浦区地域協議会	8月25日	八千浦中学校	自主的審議事項「八千浦中学校体育館の屋根の修繕について」の参考とするための現地視察。
牧区地域協議会	10月28日	十日町市松代地区	牧区の課題である「空き家を活用した移住促進」について、十日町市松代地区のドイツ人建築デザイナーから古民家再生の成功例を学ぶもの。
柿崎区地域協議会	6月4日	区内4保育園及びなおえつ保育園	柿崎区内の保育園の将来的なあり方の検討の参考とするため、施設の現状と課題を把握する。
柿崎区地域協議会	11月8日	一般社団法人 空き家活用ネットワーク糸魚川	空き家利活用の拠点整備検討の参考とするため、糸魚川市内の空き家・空き店舗を有効活用し、移住・定住を目的に設立した「いえかつ糸魚川」の設立までの経緯、業務内容、組織構成、実績、課題等の取組を視察する。

地域協議会名	実施日	研修先	研修内容
柿崎区地域協議会	11月18日	十日町市移住コンシェルジュ	十日町市移住コンシェルジュ(支援員3人が交代で常駐、移住を検討している人からの相談に応じる取組)についての現地視察。
吉川区地域協議会	11月24日	道の駅良寛の里わしま(長岡市) 道の駅瀬替えの郷せんだ(十日町市)	地域活性化の方向性を検討するにあたり、「道の駅よしかわ杜氏の郷」の活性化の参考とするため、地域センター型に分類され、対照的な取組を行っている近隣2施設を視察し、主に情報発信機能、地域の連携機能の観点について、現地関係者と意見交換を行う。
中郷区地域協議会	11月18日	長野県小布施町	自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」の参考とするため、小布施周遊バス「おぶせロマン号」の運行内容を確認する。また、まちづくりのあり方等検討の参考とするため、小布施地区のまちづくりの内容を視察する。
板倉区地域協議会	10月21日	板倉区内の「地域の宝」及び国登録有形文化財視察	宮島地区「大廣寺の秘仏と仏画」「焼山城関連施設」、「子育て蔵街道」、田井町内会「田井国分寺地内の天神社」「田井船着場」、針「旧藤田家住宅」を視察する。
名立区地域協議会	12月8日	うしだ屋(大島区)、ユキノハコ(安塚区)、坂口記念館(頸城区)、くびきのレールパーク(頸城区)、いこいの森ビジターセンター(頸城区)	【うしだ屋】移住者の視点からの上越市と今後の農業について意見交換。 【ユキノハコ】市の新規施設の視察。 【坂口記念館】市の偉人(坂口博士)の功績を学ぶ。 【くびき野レールパーク】NPO法人くびきのお宝のこす会の活動を学ぶ。 【いこいの森ビジターセンター】元気事業の経緯とその後及び地域独自の予算について意見交換。

令和4年度 地域協議会委員研修(講演会等)実績

参考資料 2

区	実施日	会場	講師	内容	
高田区	5月9日	福祉交流プラザ	①特定非営利活動法人結縁 理事長 ②特定非営利活動法人ギフトッド 理事長	①デイサービスよいさの活動について ②SMiDデイサービスSoraの活動について	
新道区	10月24日	新道地区多目的研修センター	リバーサイド夢物語 代表	河川敷の活用による地域活性化の実例について	
春日区	6月11日	上越市埋蔵文化財センター、春日山、春日山城跡ものがたり館	上越観光コンベンション協会登録観光ガイド	春日山城跡等の現地確認及び春日山観光における観光案内の状況把握	
三郷区	6月28日	三郷地区公民館	教育総務課	学校適正配置に係る三郷小学校の状況について	
和田区	4月20日	ラーバンセンター	和田地区振興協議会会長	和田地区振興協議会による上越妙高駅周辺に関する市への要望事項(【ゲートウェイ】上越妙高駅周辺地区都市機能施設誘導)について	
浦川原区	11月8日	浦川原地区公民館	自治・地域振興課	地域自治推進プロジェクトについて	
柿崎区	2月19日	柿崎コミュニティプラザ	NPO法人越後妻有里山協働機構 事務局長	地域の活性化をテーマとした講演「大地の芸術祭とFC越後妻有」	
合同研修	中郷区	6月24日	清里活性化交流施設	上越市副市長	「今後の市政運営について」
	板倉区				
	牧区				
	清里区				
合同研修	柿崎区	11月19日	上越体操場ジムリーナ	福島大学 人間発達文化学類 教授	「上越市の地域自治区と地域協議会」 ～地域自治を一步進めるために～を テーマとした講演
	大潟区				
	頸城区				
	吉川区				
合同研修	安塚区	2月17日	安塚コミュニティプラザ	上越市副市長	「中山間地域のまちづくりに関して地域協議会に期待すること」
	浦川原区				
	大島区				